

飛騨高山7度目V

飛騨地区 高校野球 決勝で益田清風破る

第39回飛騨地区高校野球優勝大会が2日間、高山市山田町の中山公園野球場などで行われ、飛騨高山が6年ぶり7度目の優勝を果た

した。夏の甲子園につながる全高校野球選手権岐阜大会を前に、飛騨地域の飛騨高山、高山工業、益田清風、

高山西、斐太、飛騨神岡、の6校のレベルアップを図ろうと、県高校野球連盟飛騨支部が開催。合同チームで参加予定だった飛騨神岡は不参加となり、5校がトーナメントで覇を競った。

飛騨高山は今大会で春季県高校野球大会（岐阜新聞社、岐阜放送後援）に出場した3校と対戦し、いずれも1点差の僅差の試合を制して優勝。3年古内陸渡主将は「接戦を勝ち切れたことは自信になる」と胸を張り、「夏はシールド校を倒して、まずはベスト8に入れるよう、選手間で切磋琢磨して取り組んでいきたい」と話した。（玉田健太）

試合結果は次の通り。
▽1回戦 飛騨高山3―2高山西、益田清風（不戦勝）飛騨神岡
▽準決勝 益田清風10―4高山工、飛騨高山6―5斐太▽3位決定戦 斐太9―5高山工
▽決勝
益田清風0000010000001
飛騨高山000020000×12
（益）神戸一青木（飛）藤本一古内▽一塁打 南裕（益）薄田、山下（飛）



優勝の飛騨高山高校



決勝で熱戦を繰り広げる飛騨高山高校と益田清風高校の選手たち―高山市山田町、中山公園野球場